

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年2月3日				
放課後等デイサービス絆宝						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化になってないが、事故・トラブルなど発生したことはない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々、消毒や清掃を行い衛生面に十分配慮しており、子どもたちの活動に合わせた空間となっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		療育の部屋とは別の個室があり、またパーティションで区切るなどの対応をおこなっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		今後も全職員が意見を述べ、共有できる場を設ける。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年評価表アンケートを実施し、集計後ミーティングを実施し、業務改善につなげている。個別面談を実施し保護者の意向を把握し職員間で共有してミーティング限らず意見交換の場を常に設けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今のところ外部評価は行っていないが、ボランティアの方々を受け入れ評価をいただくようにしている。	今後、外部評価をいただく機会を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内外の研修に積極的に参加し、学ぶ場を確保している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表中。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		こども・保護者にアセスメントを実施している。課題を共有し、計画作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別に応じて、職員が子ども主体で最善の利益を考慮している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		常に計画書をもとに、共有し支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所独自のアセスメントシートを作成しチェック式、記入式により確認を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		できるだけ具体的に、全職員がわかるように支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		子どもの特性・年齢・興味や関心などを考慮し、全職員で立案している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		曜日ごとに大まかなプログラムを設定しているが、子どもたちの表情・行動など観察しながら工夫して実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		バランスよく支援が行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、子どもの人数・迎え時間・支援内容・活動内容他、様々な打ち合わせをするなどチームで連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りは毎日行っており、全職員が共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別記録簿に記入を行い、定期的に振り返り、検討、改善を話し合い反映している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年ごとに実施し、見直し後、修正・ステップアップなど適切に行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		基本活動のバランスや頻度を定期的に見直し、子どもの興味関心や発達段階に応じて、支援を実施している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		二択選択方法や、「やらない」を受け入れる姿勢を持つようにしている。やろうとする意欲を養ったり、自己決定する力を育てたり個別に支援を行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者、自発管や主任児童指導員が参画し、情報交換などを行い課題を共有し連携を図っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の医院との連携は図っている。	今後、さらに連携を強化していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		情報交換・共有して適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談支援事業所と連携を図っている。時々であるが、保育所の方と情報共有と相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		事業所との直接的なやり取りはないが、相談支援事業所には情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターとの連携はないが、行動障害支援センターの方から助言をいただく時がある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		子ども・保護者が交流を望んでいないため、今後も難しい。保護者のニーズに応じて検討していく。	子ども同士の活動する機会は確保していないが、利用児童の安心・安全を最優先に考え段階的な取り組みを検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		令和8年度2月2日に参加申し込み済み。今後、案内があれば積極的に参加する予定。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		家での様子・デイでの様子の情報交換を行い、共通理解を持っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族に対して研修の場は設けていない。相談には居宅訪問・事業所内にて随時対応している。	個別ケースに応じて情報提供や情報共有および相談対応を中心に支援を行っている一方で研修会を実施していないため十分でない状況である。今後、テーマを決めた研修会の実施の方法を検討していく。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明しており、毎月の支払に関しては、そのつど説明している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援作成時のアセスメントにおいて、子ども自身の意向を聞き、本人の意思をより反映した計画づくりに努めている。また、保護者の意向もしっかり受け止めている。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		同意を得て交付している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族からの相談に随時対応し、日々の支援に繋げている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会は希望がないため開催していない。きょうだい同士の交流の場も設けていないため、今後検討していくべきだと思う。	定期的に保護者の意思を確認し、実施するかを検討する。 実施する場合は負担が少ない形での情報共有や交流の機会のあり方を検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		受付担当・解決担当者の体制を整えている。契約時に十分な説明を行い、苦情があった場合は迅速な対応を心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		メール・口頭にて発信しており、1月に公式Lineを開設し、より多くの手段を用いて発信する機会を増やしていく。	1
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報には、十分気を付けており、書類等の管理および取扱いに留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		発語のない児童には、視覚的配慮をしている。具体的・単語で伝えると理解される場合が多い。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		行事は春まつり・夏まつり等実施しているが、利用児だけが対象。地域ボランティアの方々の受け入れをして、楽しく過ごす日を設けている。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		全てのマニュアルを作成しており、訓練を行った場合は保護者に伝えている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		災害訓練の結果を振り返り、課題や改善点をBCPに反映させるようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者と連携を図り、情報交換・共有してすすめている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	○		医師の指示書通りの対応でなく、保護者からの聞き取りにて対応、確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画を作成し定期的な訓練や計画書に基づき研修を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		口頭で説明を行っているが、今後計画書を配布し、さらに周知していただくようにする。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		そのつど話し合いを行い、再発防止に努めている。ヒヤリハット票はいつでも閲覧・記入できる場所に設置している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回虐待防止委員会設置のほか、事業所内にて研修を行っている。また、事業所外の研修に積極的に参加し、研修内容を全職員に共有するなど強化を図っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		今のところ対象児童は無したが、やむを得ず行う場合は、保護者に十分な説明をし、承諾を得て個別支援計画書に記載することになっている。		